

審議会等の会議結果報告

1 会 議 名	令和5年度 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会
2 開 催 日 時	令和6年3月22日（金） 午後1時30分～午後3時00分
3 開 催 場 所	松阪市小野江町 383 番地 松浦武四郎記念館 多目的室
4 出席者氏名	委 員（◎委員長、○副委員長）7名 ◎萬濃 正通、○松本 良弘、松浦 史明、鈴木 えりも、 山中 和儀、野田 幸範、中村 千恵 事務局 4名 小川 可奈子（文化課 文化財担当主幹）、 山本 命 （松浦武四郎記念館 館長） 佐藤 圭祐 （同館 学芸員） 世古 詩央里（同館 会計年度任用職員）
5 公開及び非公開	公開
6 傍 聴 者 数	なし
7 担 当	松浦武四郎記念館 TEL 0598-56-6847 FAX 0598-56-7328 E-mail matsutake.k@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

- （1）令和5年度 運営状況報告
 - ①松浦武四郎記念館
 - ②松浦武四郎記念館誕生地
 - ③武四郎まつり
- （2）令和6年度 運営予定
 - ①松浦武四郎記念館
 - ②松浦武四郎記念館誕生地
 - ③武四郎まつり
- （3）その他

令和5年度 第2回 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会 議事録

日 時：令和6年3月22日（金）13時30分～15時00分

出席者：7名

委員長 萬濃 正通 （松阪市立小野江小学校 校長）

副委員長 松本 吉弘 （旧長谷川治郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧宅 館長）

委員 松浦 史明 （松浦武四郎直系子孫）

委員 鈴木 えりも （松阪市文化財保護審議会 委員）

委員 山中 和儀 （松阪市小野江公民館 館長）

委員 野田 幸範 （本居宣長記念館 館長）

委員 中村 千恵 （三重県総合博物館 学芸員）

欠席者：委員 野瀬 岩朗 （松阪北部商工会 会長）

事務局：小川 可奈子（文化課 文化財担当主幹 兼 文化財係長）

山本 命 （松浦武四郎記念館 館長）

佐藤 圭祐 （松浦武四郎記念館 学芸員）

世古 詩央里（会計年度任用職員 学芸員）

傍聴者：なし

審議内容：事項書に従って事務局が報告を行い、それに対する質問・意見をいただいた。

※事項書 4. 協議事項

（1）令和5年度 運営状況報告

①松浦武四郎記念館

②松浦武四郎記念館誕生地

③武四郎まつり

（2）令和6年度 運営予定

①松浦武四郎記念館

②松浦武四郎記念館誕生地

③武四郎まつり

（3）その他

質疑応答・意見

①移動展示について

委員：令和5年度に小野江小学校で昔の教科書を紹介するミニ展示を行ったが、今後も館外でそうした展示を行う予定はあるか。

事務局：館外での展示には、アクリル製の展示ケースの損傷リスクや展示を行うために職員のシフト調整が必要になるなど、あちこちで行うには難しいところがある。しかし、郷土資料や昔の教科書など、文化財指定を受けていないもので、地域に係る資料も当館で所蔵しているので、それらが死蔵にならないよう展示等で活用を検討していきたい。

②来館者アンケートについて

委 員：アンケートについて、QRコード（パソコン、スマートフォン）を読み込んで答えてもらうようにしているが、アンケートの回答数は増えたのか。

事 務 局：前年度より全体の回答は減ったが、今年度回答いただいた割合ではインターネットでの回答比率が増えている。自宅に帰った後からでもゆっくり回答ができるので、書いていただく意見の内容が手書きのものより充実している。今後も来館受付の際にQRコードが印刷された紙を渡ししたり、お手洗いの前の壁に貼るなどして、多くの方に回答していただけるよう工夫する。

③武四郎まつりについて

委 員：北海道から来てもらっていた団体のテントが端の方になっていた。せっかく来てもらっているのもう少しにぎやかな場所へ移動してもよかったのではないかな。

事 務 局：今年は雨の中での開催であったため、晴天なら会場入り口に入ってすぐの、とても良い場所であったのだが、雨で人の流れが代わり、端の方になってしまった。しかし、北海道の物産は夕方にはすべて売り切れていたのが良かった。今回のことを踏まえて場所の設定を検討したい。コロナで出店できなかった年もあったので、武四郎まつりに来れば北海道の物産が買える、と知ってもらえるようPRに取り組み、今後の集客にもつなげていきたい。また、北海道からの出店も継続して行えるよう取り組んでいきたい。

副委員長：雨は降ったが、大きなトラブルもなくまつりが終わった印象を受けた。お疲れさまでした。

④来年度の出版物について

委 員：三雲町史に使われていた資料や蝦夷屏風の下貼り文書などの資料調査が行われており、成果物として目録を刊行する予定とのことであるが、目録ができることによって資料を活用しやすくなると思うので、令和7年度に刊行できるよう取り組んでほしい。

事 務 局：予算等と相談しながら調査を進め、資料目録を刊行できるようにしたい。

委 員：令和6年度は開館30年の年となるが、開館日は何をするのか。

事 務 局：令和7年1月に特別展を開催する予定であるため、開館記念日の7月3日に特別なことをする予定は無く、特別展のオープニングにあわせて式典等を行う予定である。

委 員：1月だと武四郎まつりの準備と重なるため、業務に差支えはないのか。また、記念館の30年の歩みをまとめた記念誌は年度末までに刊行されるのか。

事 務 局：職員が5名いるので、業務に差支えは無いと考えている。記念誌は1月の特別展オープニングにあわせて出版できるよう計画している。また、どこかのタイミングで30年の歩みを紹介するパネル展も考えている。

以上